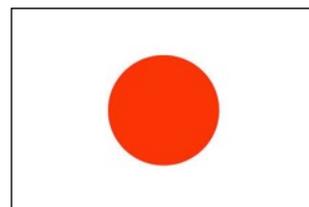




# ウガ広報



From Uganda | To Japan | Ono Kenta Menya

皆さんこんにちは！平成27年度1次隊の理科教育でアフリカのウガンダに派遣されています、小野健太です。2016年も終わりが近づいてきましたね！ウガンダの学校は今月初めに最終学期を終え、2ヶ月の長い学期休みに入りました。今回はこの3学期に行った部活動の様子をレポートしていきたいと思います！

## KISIKI COLLEGE BASEBALL CLUB



### 野球部始動に至ったワケ

ウガンダではサッカーやバレー、ネットボールといったスポーツが人気です。学校の体育や放課後の自由時間を使って生徒が試合をしたりしていますが、そこでは先生による指導はほとんど入らず、**授業中でも生徒たちがただ集まって試合をしているだけ**という感じでした。そんな時、同じ任地の久住隊員と野球について話が盛り上がり、その中で新聞紙グローブの話が上がりました。改良をすることで、軟式ボールを使ったキャッチボールが可能になったこともあり、野球部を作ってみたら面白いのではないかという話になりました。どうせやるならば部員を管理し、しっかりと日程を決めて練習に取り組みたいと考え、それらをまとめて学校側に相談したところ、快諾していただき、野球部の発足に至りました。

### 物資ゼロからの出発

野球をする、となったら色々なものがが必要です。ボール、バット、グローブ... まずはこれらを作ることから始めました！新聞紙グローブは生徒が各々作成。バットとベースは町の大工さんに作成してもらいました。ボールに関しては最初は市販されているテニスボールを使いましたが、その後ウガンダ野球連盟の方から援助という形で軟式ボールを譲渡いただき、練習に取り入れられました。





## 自分のものは自分で管理しよう！

日本ではよく言われる、当たり前のことですよね？ですが、ウガンダでは「お互いにシェアする文化」の影響か、物の貸し借りが頻繁に行われます。そのため、部活動の道具を周りの生徒が使い始めるということが頻繁に起こりました...あげく、無くなってしまうこともあります。そのため、グローブには全部記名し、他人に貸してはいけないというルールの説明から始めました。これは単に生徒による盗難防止のほか、部員たちが自分たちで物事を管理しようという意識を持つことにもつながったと思います。こうした管理ができるようになると、部員以外が活動に混ざるといったトラブルも減り、活動がよりスムーズに行われました。

## 対校試合で他校との交流！

学期の最後には、ウガンダ東部の学校Sebei Collegeの野球部と対校試合を行いました！この学校には体育の前川隊員が配属されており、同じ時期に野球部を始動しました。他の学校に出向くことが初めての生徒たち。試合が始まると観客の多さに圧倒されてか、みんな緊張で固くなっていました。けれど、キャプテンのランニングホームランから流れを呼び寄せ、9対5で勝利することができました！勝ったことは勿論嬉しいのですが、それ以上に生徒たちが声を掛け合ってお互いに応援している様子に感動しました。どのスポーツを見ても個人プレーが中心だったのですが、こうした試合を通してチームプレーが生まれたことはとても嬉しかったです。



試合が終わったら、合同練習も行いました。普段とは違うメンバーで行う練習に、お互いが緊張感を持って練習を行えたのではないかと思います。来学期も野球を通じてこうした交流の場を広げていきたいと思っています。



## ネットボールとは？

日本では馴染みの薄いネットボール。私自身もウガンダに来てから知りました。概要としては、バスケットボールを基に女性が競技しやすいように改良されたスポーツです。主な違いとしては

- ドリブルをしない（バスでボールを繋ぐ）
- ボールを持つ選手から足元90cm以上離れる。
- ゴールはリングのみ。
- 選手毎に動ける範囲が決まっている。
- シュートはゴールサークルの中からのみカウント。

などがあります。細かなルールは違えど、バスケットボールのルールを知っていれば、ある程度見て楽しむことができると思います。そんな中で一番の驚きは、ゴールにリングしかないことです！（右写真）なので、シュートは必然的に玉入れの様な形になります。また、ドリブルで切り込むといったプレーが出来ないので、バスケットボール以上に高身長や手足の長い人が有利になっているように見受けられました。平均身長の低いアジア人には向かないスポーツかもしれませんね（笑）



今回は自分の学校の野球部やスポーツの様子をお伝えしました。先生の指導が入らないせいか、まだまだ遊びのレベルを抜け出せていない様子がみられます。単にスポーツを楽しむだけでなく、規律や対人関係についても学べる部活動。今後も続けていき、ウガンダ人の先生なども巻き込んでいきたいと考えています！

平成27年度1次隊 理科教育 小野健太